支えあいチーム四中通信

第3号　2025 年　7月　1 日

Q：「支えあいチーム四中」って？

A：いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるように、支えあいのある地域を拡げていくことを推進する会です。地区ごとに生活支援コーディネーターを配置しています。四中地区ではチーム四中の生活支援コーディネーターとして、清水清子が四街道市社会福祉協議会から委嘱されています。

Q：「そもそも支えあう」って？

A：超高齢化社会を見越して医療・介護・生活支援、介護予防を国の施策として「地域包括ケアシステム」を構築するため、チーム四中では3S（参加のS・支援のS・相談のS）を支えあいの基盤である区・自治会にその3Sがあることを目指しています。

情報交換会報告

2025 年度新役員集合！

6 月 7 日(土)にわろうべの里で開催。市長もお忙しい中、参加。グループ討議の活発な意見にコメントも頂きました。 グループ討議では自治会活動に３Ｓのうち参加はサロンなど多岐に展開していますが、支援や相談の取り組みは何処に行ったらいいのか。まだ動けるし、近くに子どもがいるなど他人事になっていることが課題として残っていました。

鈴木市長

グループ討議

◎3っのＳについて

参加の“S”	支援の“S”	相談の“S”
参加する場所・居場所がある地域づくり	生活を手伝ってくれる支援がある地域づくり	相談できる場所がある地域づくり
○気軽に参加できる活動の場づくり ○歩いて行ける居場所づくり ・高齢者サロン、地域サロン ・シニアクラブのサークル ・コミュニティーカフェ ・自治会のサークル ・自宅や空き家を利用したカフェ・・・など	○ちょっとした困りごとのお手伝い ○助け合いによる家事支援の促進 ・地域のお助け隊 ・住民のための活動 ・住民参加型助け合い活動 ・シルバー人材センター ・自治会によるボランティア活動・・・など	○困ったときに相談できる人がいる ○身近な場所に相談窓口がある ・自治会や地域の集いで ・地域の施設の協力で ・地域包括支援センター ・民生委員・児童委員・・・など

保健推進委員によるサロンレク（参加のＳ）

○　みなみ地域包括センター長

挨拶　令和７年７月より、みなみ地域包括支援センター長となりました、神澤　英幸と申します。同法人にて、介護の職につき、25年目を迎えております。挨拶、笑顔を絶やさずに業務を行っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。　（相談のＳ）

【編集後記】「支えあい」は、地域の様々なつながりを土台に育まれていくもの。３年目を迎えた本情報交換会では、住民同士の関わりの中に多くのヒントがありました。2025年問題を見据え、身近な地域でできることを一歩ずつ。小さな声や動きを拾い合える関係づくりをこれからも大切にしていきたいと思います。
（四街道市地域包括支援センター林佳与 SC）

○A さん１人暮らし。部屋の電球が切れてしまった。替えの電球はあるが交換できない。暗くなるし心配。**どうしよう？と相談**
ご近所さんに相談したら「すぐに行くよ」と言って訪問。電球交換はすぐに終わり、その夜を安心して過ごすことができました。予備の電球があっても自分では交換ができなかった。介護ヘルパーには頼めない、業者はすぐには来られないと言われ困った。持つべきは頼れるご近所さんだな！と思いました。自分にもできることがあれば協力したいです。　（支援のＳ）

支えあい♡心得

区・自治会＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

作成：四中支えあい SC　2025,4

～皆さまのお手元において下さい～

発行責任者
四街道中学校地区　生活支援コーディネーター
清水清子　　☎ 090-6482-5831